

多民族宣教

1サム 17:33～37 ついで、ダビデは言った。「獅子や、熊の爪から私を救い出してくださった主は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してください。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。主があなたとともにおられるように。」(37)

新 505 番 世界中に宣べ伝えよ (旧 268 番 世界中に宣べ伝えよ)

☐ 聖句暗唱_ヨハ 5:24

☐ 聖書通読_使 21:7-8

Q.

理由と答え

伝道と宣教を知らないということは、事実上福音を知らないということです。伝道と宣教は選択の問題ではなく絶対使命であり、危機が来たときの答えとなります。

もしかして私に問題が来ていますか。多くの考えと嘆きを下ろして、神様に理由を質問してみてください。すべての事件と現場に全世界 237 か国に神様の栄光を表す宣教となるでしょう。

世の中からあざけられたり、まったく手に負えない危機に置かれるときがあります。そのとき、ダビデは肉的な考えに陥ることなく、神様が危機を与えられた絶対理由を見つけました。すると、恐れは消えて、堂々と王の前に出て主の御名を告白することができました。このように、ダビデの小さな技能は全世界に主を宣べ伝えるまことの宣教となりました。

1. 絶対理由

完全に力を失ったイスラエルの危機は、主の力を宣べ伝える機会でした。王と将軍はみんな攻めることができずに後方に引き下がっていて、兄たちはあざけっても、ダビデは堂々と主の御名を高めてゴリヤテの前に出て戦いに勝利しました。このように、ダビデの小さな技能は、イスラエルはもちろんのこと、ペリシテにまで主の御名を知らせて、その御名を宣べ伝えて賛美する宣教となりました。

2. 絶対宣教

ペリシテは全世界につながる通路であると同時に、周辺には強大国と奴隷たちにあふれていた現場でした。言い換えれば、全世界 237 か国と 5000 種族が留まる宣教地でした。ダビデがゴリヤテとの戦いで勝利すると、その噂が全世界に広まり、自然に主の御名を宣べ伝える世界宣教となりました。絶対理由を見つければ、宣教はついて来るしかない答えとなります。

ダビデは幼いときから主の霊が激しく下りました。このように、普段のときに祈って霊的な力を持つことが重要です。神様は私たちの小さな技能と霊的な力を必ず世界宣教に用いられます。

契約の祈り

神様、私の小さな技能と信仰の告白が世界宣教になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

御座の超越を味わいなさい

創 41:38 そこでパロは家臣たちに言った。「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか。」

新 299 番 神の愛は (旧 418 番 神の愛は)

☐ 聖句暗唱_ヨハ 5:24

☐ 聖書通読_使 21:9-10

Q.

私の霊的状态を

チェックする

バロメーター barometer

私はいつも喜びの中にいますか

はい／いいえ／わかりません

私はいつも祈りの中にいますか

はい／いいえ／わかりません

私はいつも感謝の中にいますか

はい／いいえ／わかりません

いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。
すべての事について、
感謝しなさい。これが、
キリスト・イエスにあって
神があなたがたに
望んでおられることです。
1 テサ 5:16～18

イエスは十字架で完了したと言われました。キリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されています。今、経験するすべてのことと、すべての出会いの中で、完了したイエス・キリストを私のこととして味わうことが信仰生活であり、御座の超越を味わう道です。どのように御座とつながることができるのでしょうか。

1. 一人でいる時にささげる礼拝

世界の強大国と暗やみ文化に勝った巡礼者の祈りを参考にすると助けになります。すべてのことと事件、頭の中に浮かぶ多くの考えと複雑な感情状態をそのまま持って、一日中神様を見上げるのが巡礼者の祈りです。一人でも礼拝することができる人は、状況と環境に関係なく、神様がともにおられることを味わいながら感謝することができます。また、逆境と苦しみの中で落胆したり疲れることなく、神様の力とみこころを悟って神様と通じる答えを受けます。

2. 生かすために行く現場

一人で礼拝の喜びを味わう人は、行くすべての所を生かすようになります。話すことができない心の傷とよくない環境の中でも、礼拝を通して神様がくださる契約とビジョン、夢を握ることができるためです。ヨセフが行くすべての現場は生かされて、周りの人々は生きておられる神様を見ました。紆余曲折の多い私の人生経験がむしろ多くの人を生かす土台であることを確認します。その体験のある人がまさに証人です。

私に迫ってくるすべてのことが、神様のみこころを成し遂げる過程で、旅程であることを知る巡礼者の生活を送るとき、すべての人を生かすようになります。

契約の祈り

神様、願っていない所で予想できないことに会っても、神様はすべてを知っておられ、私を導いておられることを信じます。神様のみこころが成就されますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

23

M A R C H・水

巡礼者の道

ダニ 6:10 ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。――彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。――彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。

新 191 番 日ごとよろこび (旧 427 番 日ごとよろこび)

- ☐ 聖句暗唱 _ ヨハ 5:24
- ☐ 聖書通読 _ 使 21:11-12

Q.

心を定めた祈り

ダニエルは普段の生活の中でいつも祈りました。
ダリヨス王が獅子の穴に投げ込まれたダニエルの所に行って話した言葉を見ると、よく分かります。

その穴に近づくと、王は悲痛な声でダニエルに呼びかけ、ダニエルに言った。
「生ける神のしもべダニエル。あなたがいつも仕えている神は、あなたを獅子から救うことができたか。」 **ダニ 6:20**

神様を信じない王が、神様は生きておられると告白し、ダニエルを神のしもべだと表現しました。
もっと驚くべきことは、ダニエルが神様にいつも仕えていたという事実を王も知っていたということです。

私はどのように祈っていますか。
ダニエルの祈りのパターンと習慣を詳細に見せてくれるダニエル 6:10 のみことばをともに黙想しながら、私の祈りを点検してみましょう。

核心訓練メッセージ | 2021.9.18

福音を悟った私たちは巡礼者の道を行く人です。奴隷から解放されたイスラエルと捕虜と属国時代、福音を持った人物は巡礼者の道を歩みながら神様のみこころを見つけました。この時代の巡礼者として生きる私たちが行くべき旅程は何でしょうか。

1. ただ一つだけ祈る

生きているので息をします。逆に呼吸をしてこそ命が維持されます。意識的に少しだけ呼吸に気を使っても脳が活力を得ます。深く呼吸しながらただ一つだけ祈れば良いのです。息を吸うとき「イエス・キリストの霊で満たされますように」息を吐くとき「目に見えるすべてに聖霊の力が臨みますように」と祈ります。この祈りで自分と現場をすべて生かすことができます。

2. 流れを見ながら行く旅程

呼吸と祈りが生活で自然につながるとき、たましいは活力を得ます。世の中が与えられない平安と環境を超越する感謝を味わいます。このような霊的狀態と心の状態になるのが巡礼者の最大の答えです。終わりそうにない奴隷生活と捕虜になっても、祈りさえ逃さなければ、決して失敗ではありません。飢え渇いた心で礼拝を慕い求め、みことばの流れの中で祈るとき、神様が行われる超越的な働きを見るようになります。

みことばと祈り 24 を味わうと平安と感謝が出て、神様の力が現場に現れ、人を生かしていやす答えを受けます。

契約の祈り

神様、最も大切な福音をくださって、すべてを準備された神様に感謝します。巡礼者の祈りと世界を生かすまことの礼拝を回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

24

M A R C H・木

誤った礼拝と真の礼拝

1 サム 18:1 ~ 9 ダビデがサウルと語り終えたとき、ヨナタンの心はダビデの心に結びついた。ヨナタンは、自分と同じほどにダビデを愛した。(1)

新 428 番 くしき主の光 (旧 488 番 くしき主の光)

- ☐ 聖句暗唱 _ ヨハ 5:24
- ☐ 聖書通読 _ 使 21:13-14

Q.

祈りの点検

神様が喜ばれる祈りがあります。それは、残りの者の祈り、巡礼者の祈り、暗やみの勢力を破って神様に栄光をささげる祈りです。

いままでやってきた私の祈り課題と礼拝を一度点検してみましょう。そして、ダビデのように神様に最高の栄光と賛美をささげる祈りを新たに始めましょう。

ダビデがゴリヤテに勝った後、人々から崇められると、サウルの嫉妬と怒りは殺人を試みるまでつなかりました。しかし、礼拝と祈りの力を知っていたダビデは、死の危機を軽く超えて、残りの者の契約を堅く握りました。その後、どんな祈りを始めたのでしょうか。

1. ただ神様だけを見上げる巡礼者の祈り

ダビデは全く苦勞せずに、祈りだけで幸せな状態、すべてのことに感謝できる姿勢、すべての見ることと聞くことを祈りにつなぐ 24 祈りをしました。ただ神様の力だけを見上げて、呼吸することさえ、天の御座とつなぎました。このように巡礼者の祈りによって、私の中に神のかたちとたましいが生き返り、危機と問題が来ても全く気にならないようになります。

2. すべての問題と事件が祈り、礼拝

主なる神様を最もよくほめたたえた人物は断然ダビデです。ダビデは時と環境を選ばず、ただ主だけをほめたたえました。王になった時は「主は私の王」と告白し、サウルが絶えず死の槍と軍隊を動員した時も、その事件自体を神様を礼拝する時間だと思いました。むしろサウルを殺す力があるにもかかわらず、ダビデはサウルを取り巻く暗やみを打ち破って神様に栄光をささげました。

巡礼者の祈りは御座を動かし、全世界に福音の光を伝えます。私たちがいくら弱くて苦難に直面しても構いません。逃げないで、祈りと礼拝の中に入れば良いのです。

契約の祈り

神様、暗やみが喜ぶようなことをしないで、ただ神様に栄光をささげる巡礼者の道を行きますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日 1 部 | 2021.9.19

25

M A R C H・金

Remnant とヨルダン運動

ヨシ 3:1 ~ 13 主はヨシュアに仰せられた。「きょうから、わたしはイスラエル全体の
見ている前で、あなたを大いなる者としよう。それは、わたしがモーセとともにいたよ
うに、あなたとともにいることを、彼らを知るためである。」(7)

新 259 番 あなたの罪過ちは (旧 193 番 あなたの罪あやまちは)

- ☐ 聖句暗唱 _ I ヨハ 5:13
- ☐ 聖書通読 _ 使 21:15-16

Q.

今、始めましょう

残りの人、巡礼者の祈りは
シンプルです。
見ること、聞くことのすべてを
祈りでつなげて、
息を吸うときは聖霊の満ちし、
息を吐くときは神の国が臨む
働きを求めれば良いのです。

一生懸命に計画していたことが
三日坊主になったと
落胆しないでください。
今、再び、
祈りを始めれば良いのです。

Remnant は既成世代の基準を尊重し受け入れても、それにとどまらず、
それを超える水準を備えなければなりません。そうしてこそ、エジプト
のような現場を正しく分別して征服できるからです。神様は Remnant
に征服者の力を毎日与えておられるのですが、どのように味わえばよい
のでしょうか。

1. 契約に従いなさい

「ただ」の姿勢で契約に従えばよいのです。「ただ」は、残りの者とい
うアイデンティティを知って祈りに集中することです。神様は私たちに
創 3:15、出 3:18、イザ 7:14、使 1:1、3、8 のみことばを約束されま
した。このみことばを契約として堅く握って祈ると、モーセとともにお
られた神様が私たちとともにおられ、学業の現場を唯一性の現場に変
化させてくださいます。

2. 現場に神様のみことばが流れるようにしなさい

契約の箱をかついだ祭司の足と、すべての民がヨルダン川を渡るまで、
水は戻りませんでした。そこには征服者の祈りが臨み、神様のみことば
が成就されたからです。このように、私たちも暗やみを縛る征服者の祈
りを始めれば、現場の流れを変える再創造の働きを見るようになるで
しょう。

今まで導かれた契約の旅程と祈りに努める時間はすべてが作品です。
Remnant は今日の現場と来る未来にもみことばを流す記念碑的な作品
のために挑戦しなければなりません。

契約の祈り

神様、ただ契約だけを握って祈る残りの者、巡礼者、征服者になりま
すように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

26

M A R C H・土

ダビデの神殿準備

I 歴 29:10 ~ 14 今、私たちの神、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄えに満ちた
御名をほめたたえます。(13)

新 550 番 ああうるわしきシオンの朝 (旧 248 番 ああうるわしきシオンの朝)

- ☐ 聖句暗唱 _ I ヨハ 5:13
- ☐ 聖書通読 _ 使 21:17-18

Q.

神様の神殿

次のみことばの黙想を通して、
神殿に対する私の心と
使命について具体的に
フォーラムしてみましょう。

そこで今、あなたがたは
心を尽くし、精神を尽くして、
あなたがたの神、主に求めなさい。
立ち上がって、
神である主の聖所を建て上げ、
主の御名のために建てられた宮に、
主の契約の箱と神の聖なる器具を
運び入れなさい。
I 歴 22:19

24 祈りを最もよく味わったダビデは、危機の中でも平安を味わい、敵
に復讐するのではなく、かえってサタンがひざまずくようにして神様に
栄光をささげました。また、万物が主の御手の中にあることをほめたた
えて、一生神殿準備をしました。ダビデがこのように神殿準備に生涯を
かけた理由は何でしょうか。

1. 神殿準備は根本的で霊的な戦争である

幼い頃からサムエルを通して契約の箱の歴史を聞いたダビデは、神殿
の意味を正確に知りました。神殿を建てることは、単に建物を建てるの
ではなく、暗やみに奪われてしまった世の中のこととの根本戦争を意味
します。また、神様と偶像の間の霊的戦争でもあります。それゆえ、ダ
ビデは町の中に契約の箱を入れるとき、踊るほど喜び、神殿を一生慕い
ました。

2. 神殿の準備は次世代のための戦争である

ダビデは王という高い地位にいらながらも、契約の箱が自分の住んでい
る所よりもむさくるしい所にあるということにいつも心を痛めていまし
た。神様はこのような信仰的良心に多くの祝福を注がれました。そのう
ちの 1 つは、歴史上最も賢い王と呼ばれるソロモンを生んだことであり、
ダビデは息子のソロモンを通して神殿を完成しました。神殿は次世代を
生かす永遠の答えであることをダビデは知っていました。

神殿を建てることは、世的なこと、偶像崇拜との戦争を意味し、次世
代の未来を左右することなので、ダビデのように一生慕う心と神様の絶
対主権に徹底的に従順する信仰が必要です。

契約の祈り

神様、ダビデのように神殿に向かった悲しみ、喜び、慕う心を私にも
与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アー
メン